

モニターダーツスタンド BSD27 取扱説明書

※小さなお子様がご使用になる場合は※

保護者の方が当取扱説明書をよくお読みになり、使用中はお子様に付き添ってください。

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用の際は必ず本書をお読みいただき、ご理解の上、正しくご使用ください。また、お読みいただいた後も、この説明書は大切に保管してください。

本製品はダーツ取り付け用スタンドとして使用されることを目的としています。
それ以外の目的で使用しないでください。

FOR USE IN JAPAN ONLY

使用者は、必ずこの取扱説明書の内容を理解してからご使用下さい。

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

品質表示

型番	BSD27
寸法	幅 61cm × 奥行 36cm × 高さ 217 (217~263) cm
材料	フレーム：金属（鋼） バックボード・ダーツホルダー：パーティクルボード
表面加工	フレーム：エポキシ樹脂粉体塗装 バックボード・ダーツホルダー：PVC
原産国	台湾
耐荷重	総耐荷重：70kg（各棚板：25kg）



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 製品の分解や改造、修理は絶対におやめください。思わぬ事故やけがの原因となり大変危険です。
- 本製品の内部または付近で火気を使用しないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 不要になった梱包袋を頭からかぶったりしないでください。窒息など重大な事故につながるおそれがあります。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

組み立てのご注意

- 組み立てる前に各部品に不足や不具合がないかご確認ください。不足や不備があった場合はただちに組み立てを中止してください。
- 組み立ておよび設置は大人2人以上で行ってください。
- けがや汚れを防止するため、必ず手袋を着用して組み立ておよび設置を行ってください。
- 組み立て時は周囲に何も無い平で広い場所で行ってください。
- 組み立て時は、床や壁、他の家具の傷を防止するために敷物を敷いてください。
- 製品の使用前に、各部品がしっかりと固定されていることをご確認ください。

⚠ 使用上のご注意

- 本製品は室内用です。屋外では使用しないでください。
- 火気や暖房器具の近くに設置しないでください。やけどや火災が発生する原因となります。
- 本製品のいずれかの部品にひび、破損などの異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。けがをするおそれがあります。
- 本製品に耐荷重以上の荷重は加えないでください。転倒または破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 全てのパーツは必ず取り付けて使用してください。
- 製品は壁際に設置してください。また地震等で転倒しないよう、壁面に固定する等の対策を行ってください。
- 本製品は、積載荷重が上部に偏ると転倒しやすくなります。ご使用の際は、棚の上段よりも下段への積載荷重が大きくなるようご注意ください。
- 製品は床面が平らで、強度が十分な場所に設置・使用してください。不安定な場所で使用すると転倒や破損の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 製品の上に立ち上がったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 本製品に寄りかかったり、物を立てかけたりしないでください。製品が転倒し、破損やけがをするおそれがあります。
- 天板の上に、加熱した鍋や湯沸かし、熱い湯呑などを直接置かないでください。熱いものを置く際は、必ずコースター等をご使用ください。変色や変形の原因となります。
- 濡れたものを載せないでください。破損や劣化、カビ・サビの原因となるおそれがあります。
- 本製品の一箇所に過度な荷重は加えないでください。破損または転倒の原因となり、けがをするおそれがあります。
- 強く引っ張ったり、無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。
- 長時間同じ場所で使用すると、接地面が変形・変色する場合があります。必要に応じて保護シート等をご使用ください。
- バックボード・棚に物を載せたまま移動させないでください。破損または落下物によりけがをするおそれがあります。
- バックボード・棚に物を載せる場合はバックボード・棚板からはみ出さないようにしてください。転倒または落下物によりけがをするおそれがあります。
- 移動をする際は引きずったり、落としたりしないでください。破損や床面に傷がついたり、けがをするおそれがあります。
- 本製品を移動させる際は、大人2人以上で移動させてください。1人で移動させると、思わぬ事故やけがの原因となるおそれがあります。
- 防虫および殺虫剤、消臭剤や除菌剤などは直接製品に散布しないでください。劣化や変色の原因となるおそれがあります。
- 下記のような場所での使用はおやめください。劣化や色あせ、サビなどが発生するおそれがあります。
 - 直射日光に長時間さらされる場所
 - 冷暖房器具の熱や風が直接あたる場所
 - 高温多湿な場所

■ メンテナンス・廃棄方法

- 各パーツに破損や異常がないか、定期的に製品全体を点検してください。破損や異常が認められた場合は直ちに使用を中止してください。
- 各パーツに緩みがないか、定期的に製品全体を点検してください。緩みがある場合は、しっかりと固定し直してください。
- 本製品が濡れたり湿ったりした場合は、直ちに水分を乾いた布で十分に拭き取り、風通しの良い日陰でよく乾かしてください。濡れたまま放置しておくと、サビや臭気の原因となります。
- 本製品を廃棄の際は、各地方自治体の廃棄区分に従って廃棄してください。

【製品のお手入れ方法】

- 本製品を清掃する際はアルコール、ベンジン、磨き粉などは使用しないでください。変色や変形の原因となります。
- 本製品を清掃する際は柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品を水拭きする場合は固く絞った柔らかい布で拭き上げ、直射日光が当たらない風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。湿気が残っていると、劣化やサビの原因となります。

■ ホルムアルデヒドについて

● ホルムアルデヒドとは

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つといわれています。常温で気化し、無色で刺激臭があるのが特徴です。主に家具や建材に使用される塗料や接着剤に含まれており、常温で気化するというその性質上、徐々に室内に放散され滞留します。

ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間滞在すると、目・鼻・喉への刺激や、咳やくしゃみといったアレルギー症状が現れることがあります。また、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が高い場合は、呼吸困難等の重篤な症状を引き起こすおそれがあります。

● 家具を設置する室内の換気について

アレルギー症状を発生しにくくするために、下記に記載する定期的な室内の換気を行ってください。

- ・製品の開梱及び組み立ては、風通しの良い十分換気できる部屋で行う。
- ・初めて使用になる前に、製品を設置した部屋の換気を十分に行う。
- ・製品を設置してからも、部屋を長時間締め切ったままにせず、こまめに部屋の換気を行う。

● 化学物質に敏感な体質のお客様へ

ホルムアルデヒドをはじめとする化学物質の許容量には個人差があります。したがって、室内に滞留しているホルムアルデヒドの濃度が、健康上望ましいとされる濃度値以下の濃度であってもアレルギー症状が現れる可能性があります。

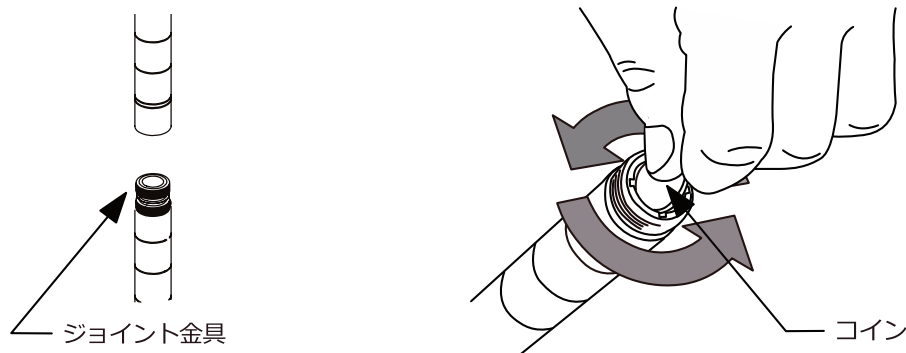
可能な限りホルムアルデヒドの放散が少ない材料を使用しておりますが、全く放散されないわけでありませんので、予めご注意ください。

● アレルギー症状が疑われる場合

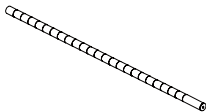
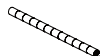
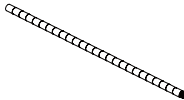
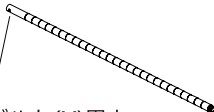
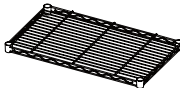
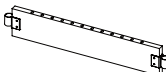
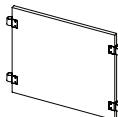
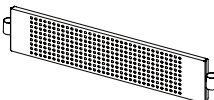
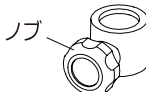
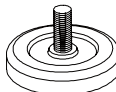
何らかのアレルギー症状が起きた際は、すみやかに医師にご相談されることをおすすめします。

支柱のジョイント金具はコインやコインドライバー等で外すことができます。

各部支柱に取り付けられたジョイント金具は、組み立て手順の記載と異なる場所に取り付けられている場合がございます。取り付け位置が異なる、もしくは組み直しを行いたい場合は、下記の通りコイン等を使用することで取り外すことが可能です。



■ 部品・付属品

A	下段ポール	B	上段ポール（前方）	C	中段ポール	D	上段ポール（後方）
 上：ジョイント金具用ナット 下：アジャスター用ナット ×4		 上：キャップ 下：ジョイント金具 ×2		 上：ジョイント金具用ナット 下：ジョイント金具 ×2		 ノブボルト(M)用穴 ×2	
E	調整ポール（ショート）	F	調整ポール（ロング）	G	固定用ポール	H	棚板
 ×2		 ×2		 ×2		 ×3	
I	棚板シート	J	ダーツホルダー	K	バックボード	L	モニター設置ボード
 ×1		 ×1		 ×1		 ×1	
M	ノブボルト	N	アジャスター	O	テーパースリーブ	P	ネジ
 ノブ ×2		 ×4		 ×42（うち予備 2）		 ×4	
Q	ワッシャー	R	ボルト				
 ×8		 ×4					

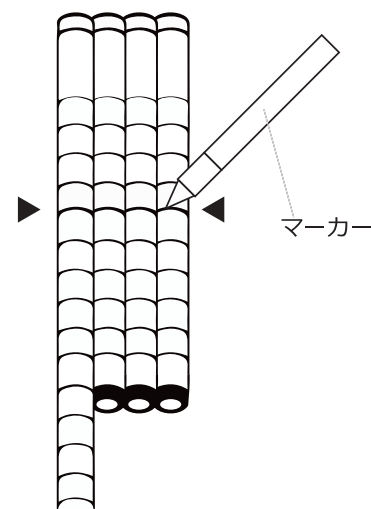
■ 組立前にお読みください

○組み立てる前に予め支柱に印を付けておくことで、棚板を水平に取り付けやすくなります。

- 1 下記の「ポールの組み合わせ方」を参照して各ポールを接続し、本製品を設置したい場所に立てます。
このとき、必要に応じて調整ポール（ショートまたはロング）を取り付けてください。

▼ポールの組み合わせ方

後方：下段ポール+中段ポール+（調整ポール）+上段ポール（後方）
前方：下段ポール+上段ポール（後方）

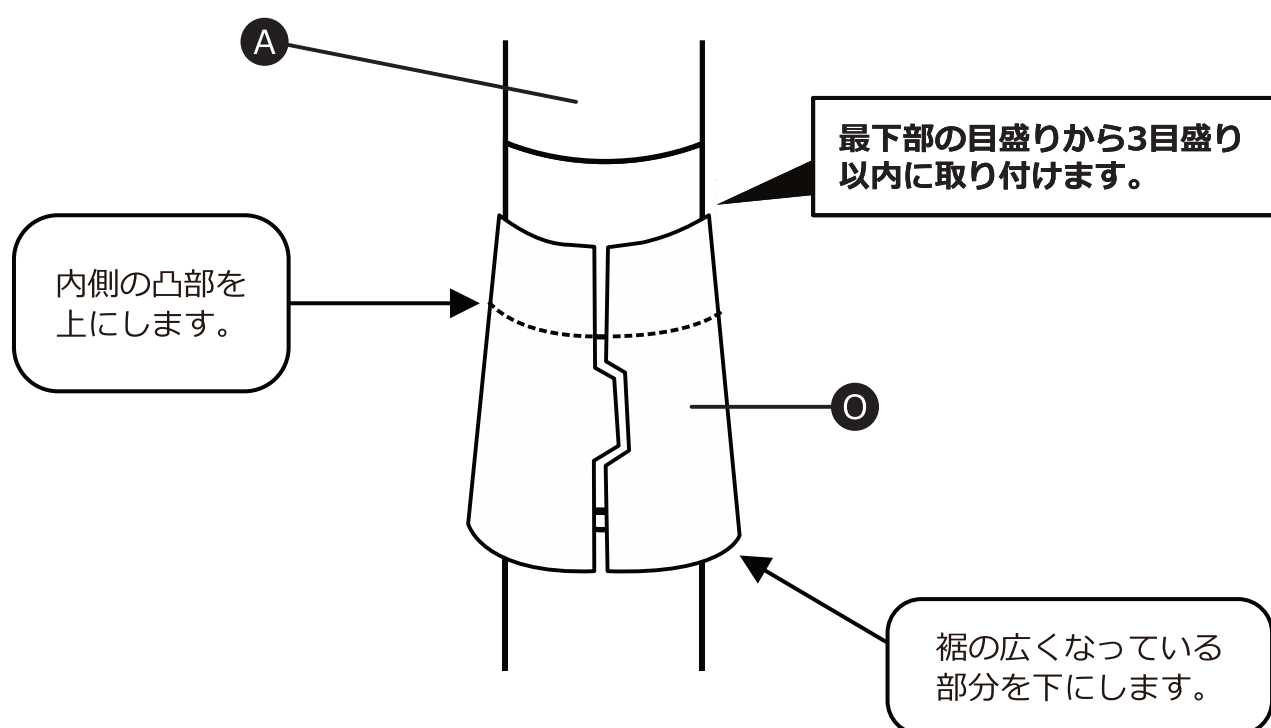


- 2 立てた状態で各棚板とバックボード、モニター設置ボード等の設置位置を決め、溝にマーカーなどで印をつけます。
- 3 棚とバックボード、モニター設置ボード等の位置が決まったら、残りの部品を並べて同じ位置に印を付けます。

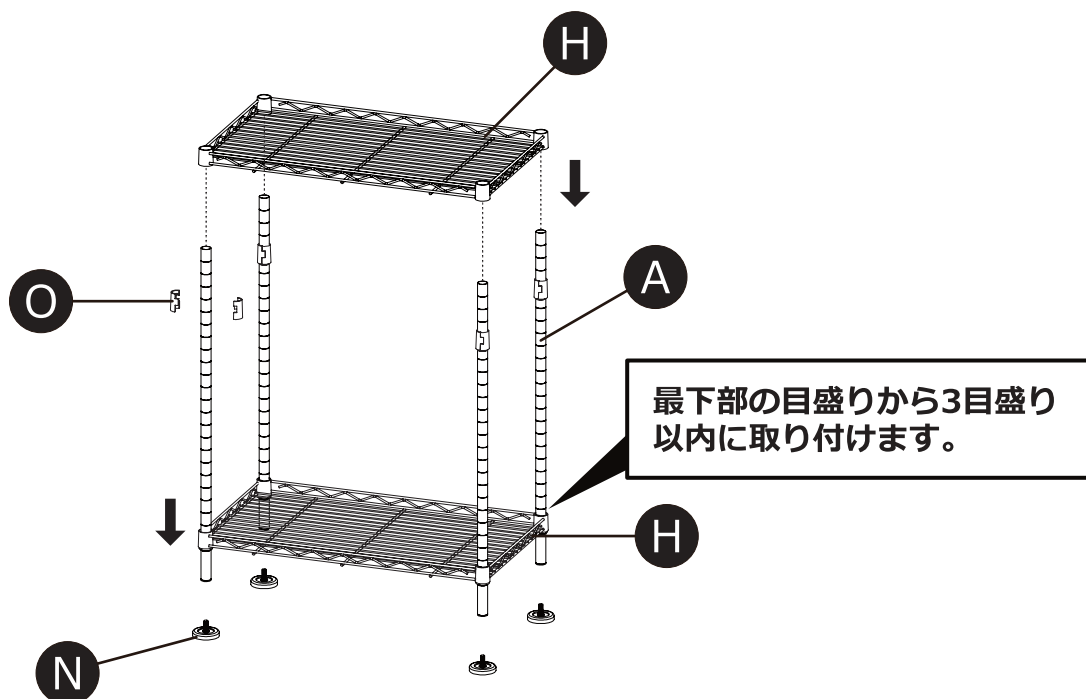
- 4 接続した各ポールを取り外しておきます。

■ 組み立て手順

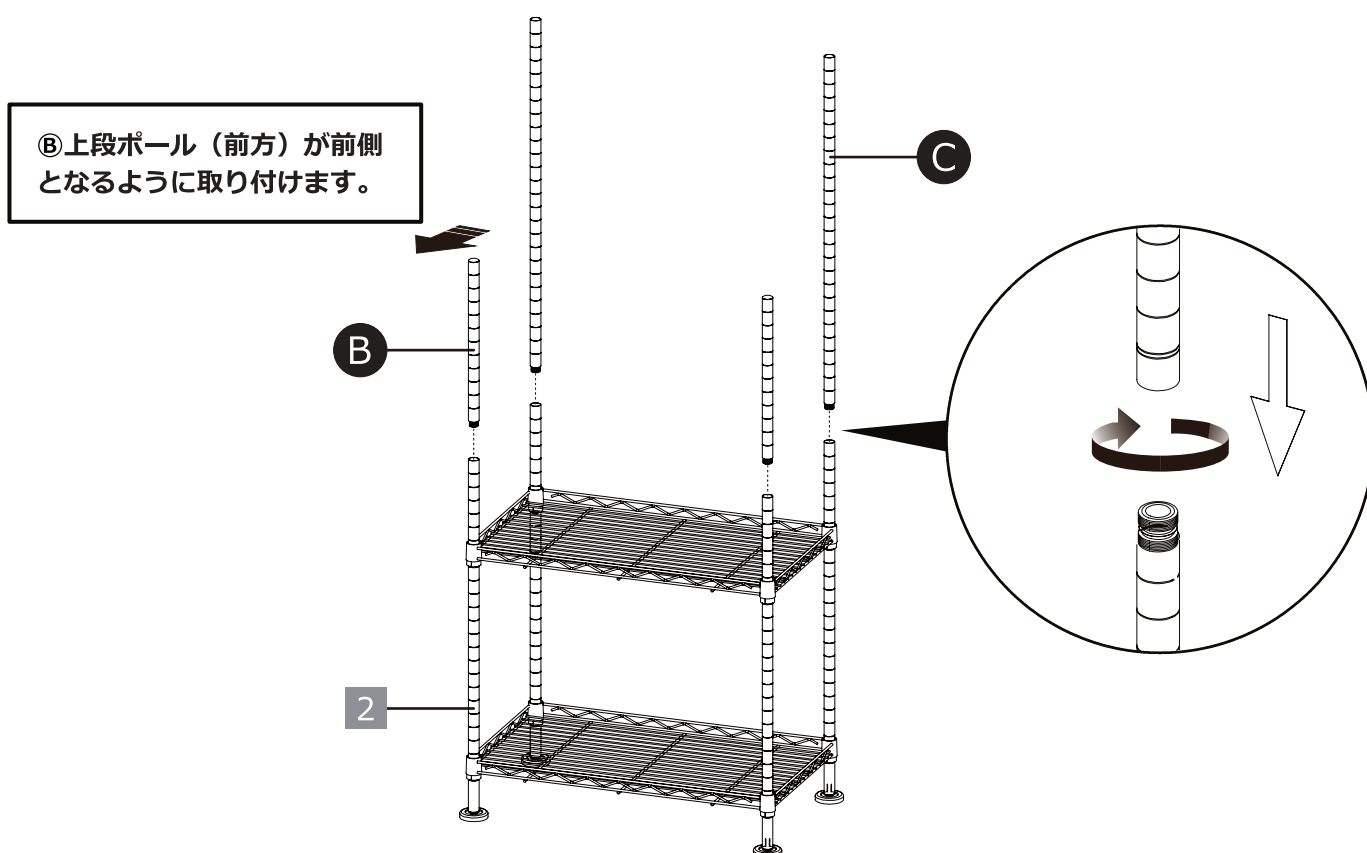
- 1 目印を付けた④下段ポールが一番下に、⑤テーパースリーブを取り付けます。
テーパースリーブは裾の広がっている部分を下にして、ポールの溝とテーパースリーブ内側の凸部がかみ合うように取り付けてください。



- 2 1で組み立てた下段ポールに⑨棚板と⑩アジャスターを取り付けます。
最下段の棚板は全体を安定させるために、最下部の目盛りから3目盛り以内に取り付けてください。



- 3 2で組み立てた本体に、⑪上段ポール（前方）と⑫中段ポールを取り付けます。



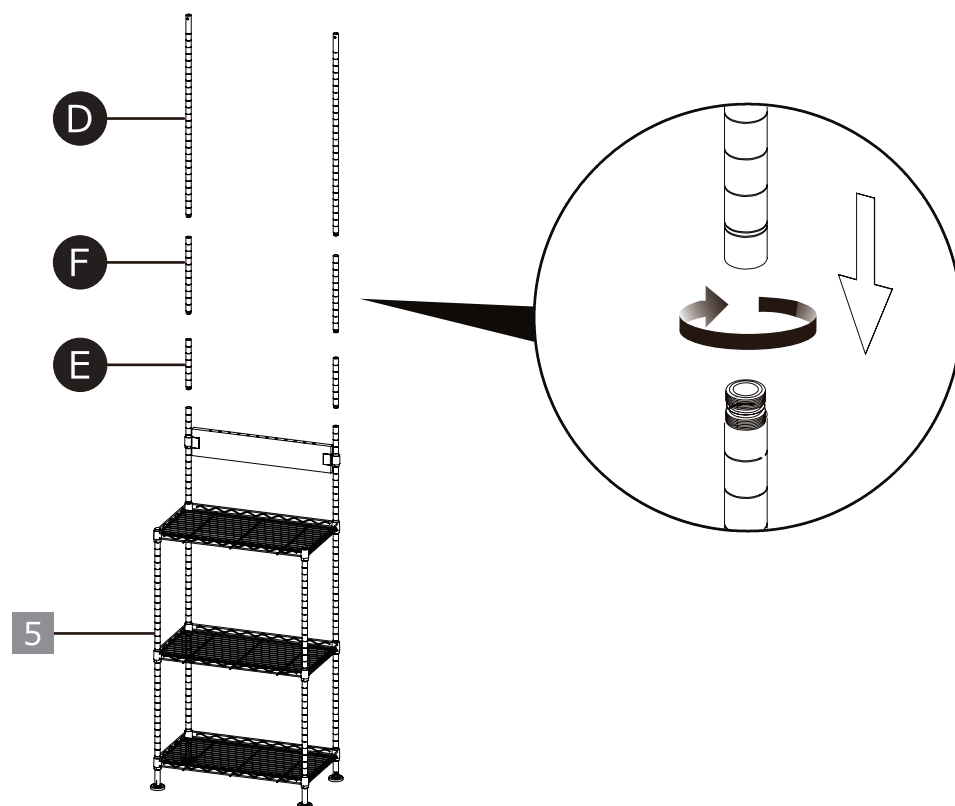
- 4



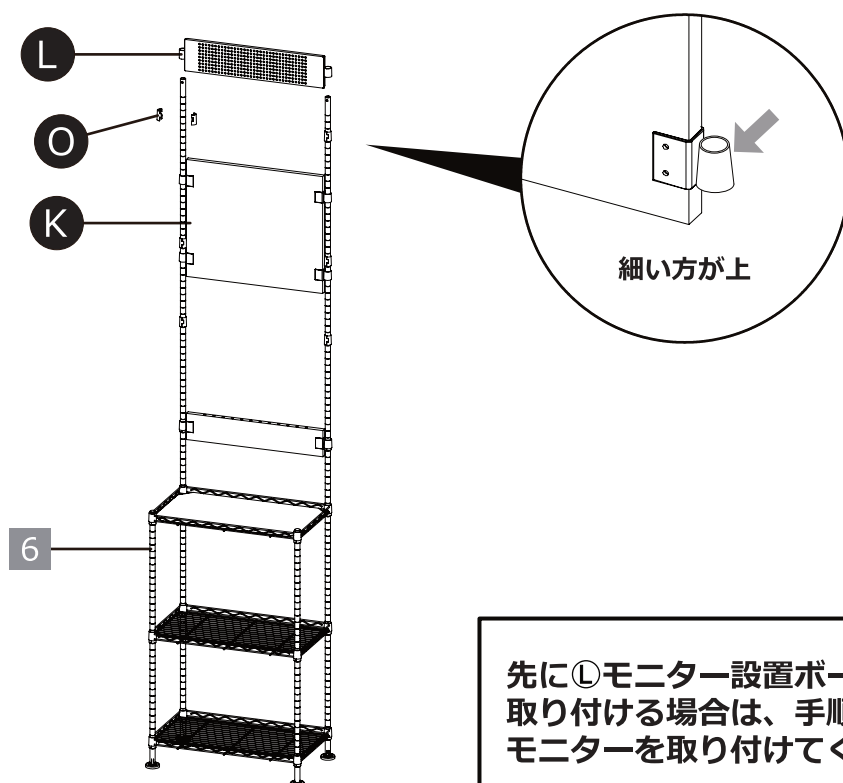
- 5



- 6 5で組み立てた本体に㊦上段ポール（後方）を取り付けます。
このとき、天井高に応じて㊥調整ポール（ショート）と㊧調整ポール（ロング）
を取り付けてください。

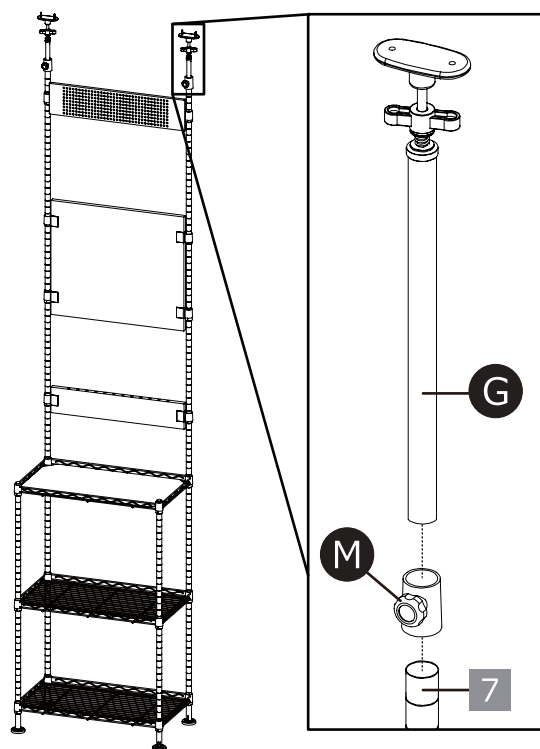


- 7 6で組み立てた本体に㊨バックボードと㊩モニター設置ボードを取り付けます。



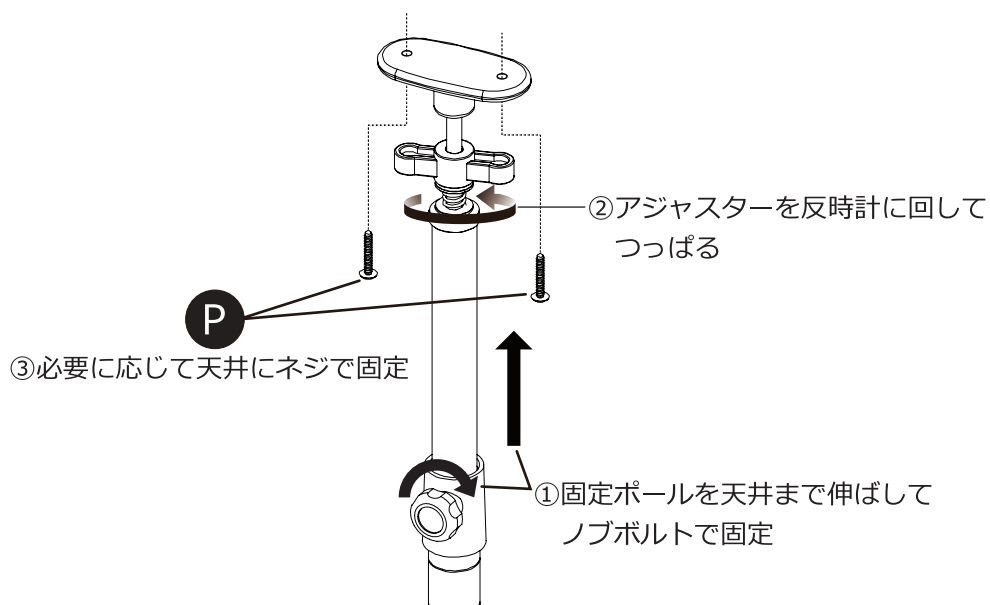
先に㊩モニター設置ボードにモニターを
取り付ける場合は、手順10に従って
モニターを取り付けてください。

8 7で組み立てた本体の上段ポール（後方）に①Mノブボルト、②G固定用ポールの順で取り付けます。



9 8で組み立てた本体を設置場所に移動して、以下の手順で天井につっぱって固定します。

- ①固定用ポールを天井の高さに合わせ引き出し、ノブボルトでしっかりと固定します。
※このとき固定用ポールを限界線以上に引き出さないでください。
- ②固定用ポール先端のアジャスターを反時計方向に回して、天井と床との間で突っ張らせてしっかりと固定します。
- ③必要に応じて固定用ポール先端部のボルト用穴に④Pネジを通し、天井と固定用ポールの接地面を固定してください。



10 図1の様に、㊦モニター設置ボードを㊩ワッシャーで挟み、㊨ボルトでモニターに固定してください。

※7の時点でモニターを取り付ける場合は、図2の様に先にモニター設置ボードにモニターを取り付けてください。

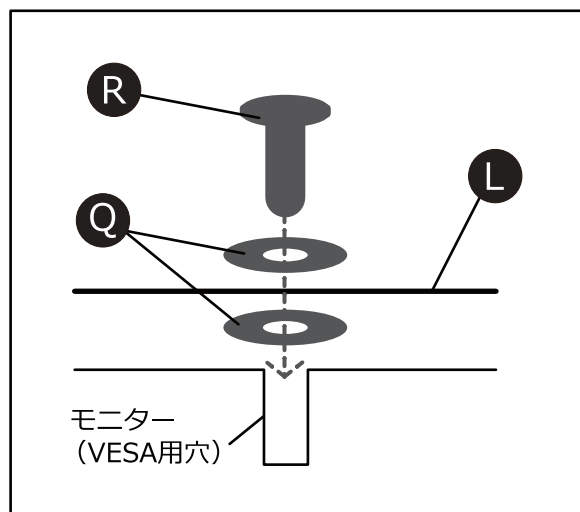


図1



図2

11 バックボードにお手持ちのダーツボードを取り付けて完成です。

- 落下防止のため、ネジ止めに加えて、十分な強度のある針金などで吊り下げることをおすすめします。
- ダーツボードの落下に関しては保証いたしかねます。

ダーツボードを木ネジで固定して取り付ける際は、木ネジを取り付ける位置に錐（きり）や電動ドリル、木ネジを用いて、あらかじめ下穴を開けてください。下穴を開けない場合、作業に時間を要するほか、ドライバーやネジがなめる可能性があります。

